

岩手県立大槌高等学校「総合的な探究の時間」での校外防災学習会の講師を杉安和也副センター長および社会福祉学部の鈴木あゆみ先生が務めました。

2025 年 12 月 4 日 開催

キーワード：人材育成、防災教育

会場：岩手県立大学 共通講義棟（岩手県滝沢市）

2025 年 12 月 4 日（木）、岩手県立大槌高等学校からの依頼にて、同校の「総合的な探究の時間」の一環として校外を訪ねる防災学習会の受け入れを実施し、「大槌町内の災害弱者（避難弱者）の避難行動を支えるための効果的な施策は何か」というテーマのもと、当センター所属の講師および大槌出身の大学生との意見交換等が行われました。

当日は、1 年生 17 人が参加し、生徒たちがこれまで調査・整理してきた災害時の避難に関する発表が行われ、さらに探究を深めるためにはどのような視点から調べるべきかといった質問が寄せられました。

社会福祉学部の鈴木あゆみ講師は、避難行動要支援者に関する解説を行い、実際に個別避難計画を作成している事例等を紹介しました。また、事前に作成できるマイタイムラインの必要性や作成方法についても説明しました。生徒たちは災害弱者にあたる方々の避難の課題をどのように解決できるかを検討していきました。

続いて、杉安和也副センター長（総合政策学部）からは防災復興支援センターの活動取組を紹介したほか、避難所運営ゲーム HUG（地震版）を 3 グループに分かれて実施しました。地震災害発生時に学校が避難所となる状況を想定し、生徒たちは避難所の受付設置などについても多様な視点から意見を交わし、避難所運営の難しさと工夫の必要性を体験的に学びました。

岩手県立大学防災復興支援センターは、今後も次の災害に備える人材育成に力を注ぎ、地域の防災力向上に貢献してまいります。

■開催概要

- （1）日時 2025 年 12 月 4 日 10：20～13：00
- （2）会場 岩手県立大学 共通講義棟 202 講義室
- （3）対象 岩手県立大槌高等学校 1 学年生
- （4）参加者数 17 人



大槌高等学校 1 学年生への防災学習会の様子



大槌高等学校 1 学年生の避難所運営ゲーム HUG（地震版）の様子